



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ みんなで気づく（築く）さわやか天栄

2017.2.16

教育委員会だより No.67



少し不便だけれど 魅力いっぱい 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

2020年『教育改革』の概要

Series 教育課題 8

大学入試改革に見る『教育改革』

東京オリンピックが開催される2020年（平成32年度）、小学校の学習指導要領が改訂、翌年には中学校が改訂されることに伴い、平成30年度から、その一部が段階的に先行実施されます。今回の改訂では知識偏重型から脱却し、思考力・表現力を主体的な学びの中で育む「アクティブ・ラーニング」が重視されます。その重要施策の一つが、小学校で新たに教科として導入される「英語」です。先進諸国はもとより、アジア諸国と比べても英語力が極めて低い日本、グローバル化に対応する人材の育成が急務となっています。また、平成32年度より大学入試制度も大きく変わり、「大学入試センター試験」を廃止し「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」が導入されます。従来の知識偏重の教育では対処できない、真の学力が試される問題が検討されています。特に英語は大改革で、「話す」「聞く」「技能も評価対象とする方針で、ただ話すのではなく、「自分の考えをどう話せるか」を問うため、外部の資格試験（TOEFL・TOEIC等）の活用も検討されています。

その他、筆記ではなくタブレット等を利用して受験する「CBT方式」（Computer Based Testing）で行われること、年1回ではなく複数回実施されることなど、従来のセンター試験にはなかった内容及び実施方法が検討されています。この大改革の大学入試を受ける最初の子供たちが、現在の中学2年生です。つまり、教育改革はすでに始まっているのです。

私たち教員は、改革（次期指導要領）の趣旨を正しく理解し、指導の改善を図らなくてはなりません。対応の遅れは、子供たちの将来を大きく左右します。私たちの使命と職責を自覚し、それを具現化するため、次年度「英語の村」の様々な取組を工夫していきます。昨年末、コンビニの無人化実験が始まりました。6月号（No.59）でも紹介したようにAIの進化が時代を大きく変えようとしています。指導者たる私たちが、変化の波をいち早くとらえ、子供たちに必要な力を身に付けていくため、今すべきこと・できることを考え、実践していかなくてはなりません。

湯本地区スキー大会

2月9日（木）、スキーリゾート天栄において、第58回湯本地区学校スキー大会が行われました。

心配された天候も小雪がちらつく程度で、風もない絶好のコンディションの中、参加した小学生47名、中学生18名は、元氣一杯、見事な滑走を見せてくれました。

当日を迎えるまで、子供たちの引率・指導等にご尽力いただきました先生方に、心より感謝申し上げます。



◆ 天栄村教職員研究物展・教育講演会 ◆

2月10日（金）に、文化の森てんえいにおいて、天栄村研究物展・教育講演会が行われました。素晴らしい事例紹介・実践発表をしてくださった先生方の、心を打つ名言をもう一度。

- ◆ 教育は人なり 熱き心を持って
最善を尽くして 一流たるべし
(湯本小：小峰校長先生)
- ◆ 大切にしたい3つの“C”
Chance , Challenge , Change
(湯本小：柴田先生)
- ◆ 幻界突破 ⇒ STAY GOLD !
↳ 限界なんて幻 (天栄中：橋本先生)
素晴らしい取り組みをされた先生方に共通するのは、「子供たちへの熱い思い」と「決してあきらめない心」だということを痛感しました。

Column

コラム

2月7日に開催された域内学力向上会議の中で、アメリカの教育学者ウィリアム・アーサー・ウォードの言葉を引用して、教師のあるべき姿について指導がありました。

The mediocre teacher tells.
The good teacher explains.
The superior teacher demonstrates.
The great teacher inspires.

普通の教師は 言うべきことを一方的に喋る
良い教師は わかりやすいように解説する
優れた教師は 自らやってみせる
そして偉大な教師は 子供の心に火をつける



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していただけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○スキー・スノーボード教室

1月28日（土）と2月4日（土）に平成28年度スキー・スノーボード教室をスキーリゾート天栄を会場に行いました。両日ともに天候に恵まれ、絶好のスキー日和となりました。

参加した子供たちは、スキーとスノーボードのクラス別に4つの班に分かれそれぞれのインストラクターの指導のもと教室は始まりました。初心者クラスは慣れないスキー板に戸惑っていましたが、滑る姿勢や止まり方の練習を2時間ほど行った後は上手に滑れるようになっていました。

その後お昼ご飯を食べ午後からの教室では、どのクラスもリフトに乗り山の上から滑れるくらいになり、子供たちは冬の寒さを忘れるくらいスキーを楽しんでいました。



○てんえい生涯学習パワーアップ教室

天栄村の生涯学習を推進するリーダーを育成するための教室である「てんえい生涯学習パワーアップ教室」が、うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授である天野和彦氏をお招きし、12月18日（日）から月1回の4回に渡り実施しています。その中で第2回目となる教室が1月28日（土）に行われ、7名の皆さんが参加してくださいました。

教室では、天野氏より現在の福島県内の現状と課題について学んだ後グループに分かれ、これからの天栄村の生涯学習について、どのような取り組みが若若男女どの世代も行うことができるかを話し合いました。



○ぼくらの版画展XI・マイコレクション展

2月1日（水）から2月12日（日）の2週間に渡り、今年で11回目を迎える「ぼくらの版画展」をふるさと文化伝承館を会場に行いました。今年度展示された中学2年生44点、小学6年生54点の計98点が会場内をにぎやかに彩りました。また、同時開催のマイコレクション展では、村内在住の方の貴重なコレクションの数々を展示し、訪れた方は普段目にする事ができない作品に感心していました。

